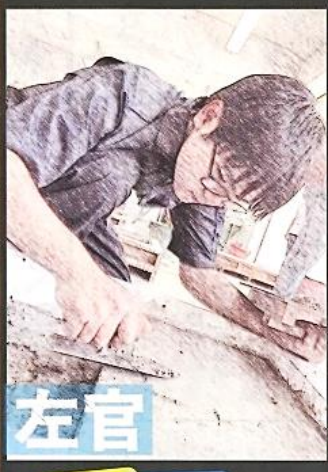


# 県内工業高校 建築科・土木科特集

# 未来を支える「明日の匠」

社会が本気で人々の暮らしを支える建築業。昨今、技術者不足が叫ばれている中、建築・土木科のある県内工業高校では、もくろみの知識や技術を学ぶ「クリエーション」を展開し、未来の担い手を育成している。専門的な技術・技能を身に付けられるように魅力を感じる生徒が多く、在籍し、地域社会からも重要な役割を担う「職人」として期待が高まっている。各校それぞれの学科の特徴、進路状況、生徒の声をあかす。



木工、製図、型枠、鉄筋、現場見学、溶接、ドローン、左官、模型、測量

## 教えて！学科の推しポイント！



**建築科3年の(左から) 高原 颯和さん、宮里 颯馬さん、2年の喜友 名司時さん、瑞慶村 梨葉さん**

—建築科に入学した理由は  
 高原さん：もともと建物を見るのが好きで、自分も建設業に携わりたいと思い、県内でもレベルの高い沖縄工業の建築科を志望しました。  
 瑞慶村さん：家を建てたいと思い、建築に関する知識を学びたく沖縄工業高校に入りました。

—学校や建築科の良い所は  
 高原さん：先生の教え方がとても分かりやすいです。  
 宮里さん：イベントに対して熱いです。

—好きな教科は  
 宮里さん：課題研究です。キャットタワーを作っています。  
 喜友名さん：製図が好きです。CADで書いたものが形になるのが面白いです。  
 瑞慶村さん：体育と実習です。もともと体を動かすのが好きなので、い

—進路について  
 高原さん：県外の建設会社に内定をいただいています。  
 喜友名さん：専門的に学ぶために建築学科のある県外の大学に進学希望です。

—将来の目標や夢は  
 高原さん：入社する会社は海外でも事業展開しているので海外で仕事がしてみたいです。  
 宮里さん：現場監督になるのが夢です。いずれは起業したいと考えています。  
 喜友名さん：お客さまに自分の手掛けた住宅に住んでもらうことです。自分の家も建てたいです。  
 瑞慶村さん：大工職人になるのが夢で、自分の家を建てたいです。

## 専門知識や技術の習得と人間力育む

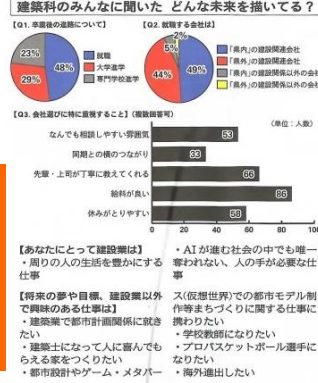
資格取得に力 多数の 座間電教諭は「日頃から資格取得の難しさや現場の厳しさを伝えている。沖繩工業高校の建築科では、課題研究、実習、設計製図(CAD)などで、資格取得に挑戦する専門的なスキルを身に付けてもらう。結果を残して、建築分野の基礎的な知識や技術を学ぶ。また、資格取得にも力をいれており、昨年は2級建築施工管理技士の試験に39人の生徒が合格。また昨年度から土木科と連携し、建築科の生徒が2級土木施工管理技士の講習を受けられるようになった。これまでも建築科の生徒が、この両方の試験に合格した。建築科の安心感、ユーザーに取り組む姿勢、これからのモチベーションを高めるべく、昨年は、建築科の生徒が、土木の道に進む生徒もいるので、建築科は柔軟性を持って進路を考えることができる」と資格取得のメリットを話した。

また、昨年度から土木科と連携し、建築科の生徒が2級土木施工管理技士の講習を受けられるようになった。これまでも建築科の生徒が、この両方の試験に合格した。建築科の安心感、ユーザーに取り組む姿勢、これからのモチベーションを高めるべく、昨年は、建築科の生徒が、土木の道に進む生徒もいるので、建築科は柔軟性を持って進路を考えることができる」と資格取得のメリットを話した。

また、昨年度から土木科と連携し、建築科の生徒が2級土木施工管理技士の講習を受けられるようになった。これまでも建築科の生徒が、この両方の試験に合格した。建築科の安心感、ユーザーに取り組む姿勢、これからのモチベーションを高めるべく、昨年は、建築科の生徒が、土木の道に進む生徒もいるので、建築科は柔軟性を持って進路を考えることができる」と資格取得のメリットを話した。

沖繩工業高校(建築科)

学校HP



木工の実習で木材を加工する生徒

新春増刊 週刊沖縄建設新聞に掲載  
 沖縄工業高校建築科の魅力ココに